



発行日 平成 29 年 7 月 20 日

横浜市立上の宮中学校 横浜市鶴見区上の宮 1-26-33 TEL 045-582-8801 FAX 045-585-9914

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/kaminomiya/>

努力
自律
敬愛

1 学期を終えるにあたり

学校長 金井孝澄

みなさん素晴らしい体育祭をありがとうございました。みなさんの競い合う中にもライバルに敬意を払い自分の成長を促す存在として捉える姿に感動をいたしました。さて、いよいよ夏休みが近づいてきました。部活動や宿題などで忙しい夏休みを過ごすことと思います。1年の中で特に成長のチャンスが夏休みです。1学期の学習成績を見て、しっかりと目標と計画を立てて実行していくことが重要です。「なりたい自分」に近づける方法の一つが教科の勉強をすることです。生徒の皆さんにとって無駄な勉強は一切ありません。成長の材料に必ずつながっています。そして、計画が実行されているか、計画の進行がどれくらいかをチェックしていくことも自分をコントロールする力をつける大きな方法です。自分の中に、自分の行動を確認するもうひとりの自分を作って、計画の進行状況に合わせて次の行動を決めたり、計画を修正したりすることができるようになるといいですね。自分を客観的に見る力のことをメタ認知と呼んでいます。メタ認知力をつけると全ての力を自己の成長に、つなげていくことができるようになります。よく、計画を立てても計画通りにいかないから無駄だという人がいます。そういう人は自分を見つめる機会を失ってしまう残念な人です。計画を立て、実行し、実行状況を見つめて(自己モニタリング)チェックし、計画の修正や実行の方法を変更したりして、目標に近づけていくことは全ての学習につながっています。今年の夏休みを大きなものにしましょう。



メタ認知能力(出典 ウィキペディア) 現在進行中の自分の思考や行動そのものを対象化して認識することにより、自分自身の認知行動を把握することができる能力を言う。自分の認知行動を正しく知る上で必要な心理的能力。現代において、メタ認知能力の育成は、教育、とくに学校教育において特定の教科教育を越えた重要な課題のひとつとなっている。

「体育祭を終えて」

体育祭実行委員長 3年 仲原 舞有珠

皆さん、体育祭お疲れ様でした。今年は天気にも恵まれ、3年生にとっては、最高の形で体育祭をすることができました。

当日、本番では、どの学年も勝つことを目的にせず、共に戦って勝った相手に拍手をしていたりと、相手と称え合う場面が見られ、学年としての和を感じました。私たち3年生も40人41脚で、練習前日まで、転んでしまうクラスが多かったのに、本番ではどのクラスも転ぶことなくゴールした時は、学年皆で拍手をし、喜び合い学年の絆を肌で感じ私自身も感動しました。

たくさん練習をしたソーラン節や、作戦会議をした綱引きでは、本当にこの学年やクラス仲間との団結を感じることができ、自分の中でとても達成感がありました。体育祭は、本番だけのものではなく、本番に向けて仲間と一緒に積み重ねる練習の中で団結力を深めることになるとこの三年間で学び、またそのことが学年の輪を作るとても大事なことなんだと思いました。

最後に、体育祭を行うに当たって今まで準備をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。来年は、今年の体育祭をさらに上回る、自分たちにとって、最高の思い出に残るような素晴らしい体育祭にしてほしいと思います。



鶴見区平和スピーチコンテストが7月4日に行われました。本校からも3年の代表佐藤未菜さんが出場し優秀賞をいただいたので全文をご紹介します。

心の交流から生まれる平和

3年 佐藤未菜

五月の終わり、私は滋賀県日野町での農村民泊体験の修学旅行へ行ってきました。見知らぬ一般家庭でうまくやっていけなかったらどうしようという私の不安は、民泊先の温かい笑顔と「よう来たな。」という挨拶に迎えられてすぐに消え去りました。受け入れ家庭のおじいちゃんやおばあちゃんは初対面の私達に優しく、飾らぬ笑顔で話しかけて、農作業や流しそうめんなど日頃出来ない体験をさせてくれました。そんな家族の一員のように接してくれた日野町の方々との二日間の交流は、

私の心を豊かで幸せに満ち溢れたものにしてくれました。と同時に人との確かな心のつながりを実感しました。そして、この体験から、学んだことはすむ環境が違っていても相手を理解しようとする姿勢があれば、どんな人同士でも必ず良い関係を築くことができるということです。例えば、今回の体験を心から楽しむことができたのは、民泊の方々の楽しんでほしいという思い、そしてその気持ちを汲み取り、応えようとする私自身の姿勢があったからだと思います。そして、それは普段の生活でも変わりません。学校の友達や先生と交わす会話。近所に住む人への挨拶。そんな何気ないやりとりの一つひとつが、実は相手を受け入れ理解する「心の交流」であったことに気づかされました。人とお互いに素直な気持ちで向き合うことは、温かな関係性を気づくための一つの糧となります。そして、それこそが社会全体の小さな平和にもつながっていくのではないのでしょうか。この身近な人たちから生まれた小さな平和が日本、そしてこの世界全体をもより温かで平和な社会にするための原点になると信じます。私は今でも日野町の方と手紙のやりとりを通じて交流を続けています。また、日常生活の中でも近所の方達に積極的に挨拶をするようになりました。それは身近な友達や地域の方達と温かな交流でつながりを深めていくことが、今の私にできる平和な社会を築く第一歩だと考えたからです。自分ができることを行動に起こすことで、いつの日か地球全体が笑顔あふれる平和な世界になることを信じ、これからも積極的に人と挨拶を交わして心の交流を続けていきます。



PTA の皆さんからのプレゼント

PTA 学年学級の皆さんが七夕飾りをプレゼントしてくれました。生徒の皆さんの願いが書かれた短冊を一つひとつ丁寧に飾っていただきました。皆さんの願いが叶いますようにと豪華なものになりました。季節感を感じさせる素晴らしいプレゼントに感激しました。

8月の予定

8月28日 第二学期始業式 防災訓練

8月29日～31日 教育相談

上中生の活躍

鶴見区平和スピーチコンテスト 優秀賞 3年佐藤未菜

和太鼓部 第二寺尾地区連合町内会社会を明るくする運動参加

学家地連総会・地区懇談会が行われました。

7月4日に学校・家庭・地域連携事業実行委員会総会・地区懇談会が地域の皆様・PTAの皆様・近隣の学校関係の皆様をお招きして行われました。本年度より地区別の生徒の代表が決まりましたので、1年生の代表が自己紹介させていただきました。各学校の様子や地域での生徒の様子などをうかがうことが出来て有意義な日となりました。多くの方にご参加いただきありがとうございました。



学校運営協議会が開かれました。

6月13日に学校運営協議会が行われました。教育委員会からも指導主事の藤井先生が参加していただき、学校運営の基本方針検討・予算関係報告・各学年の行事実施報告などを学校からさせていただきました。委員の皆さんから励ましや生徒へのお褒めの言葉をいただきました。

英語教育プログラム SEPRO と税の教室が行われました。



7月4日5日の二日間に渡り、近隣校のAET（アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー）を招き生徒6人に一人の外国人講師がついてコミュニケーションを取るプログラムが行われました。少人数で行われるこのプログラムは市で積極的に取り入れ、区内の中学校の協力で行われています。社会の授業では税理士の方が納税教室を3年生全クラスで



行っていただけました。

先生方も研修で頑張っています。

テスト日6月12日13日の午後先生方は救命訓練と AED の使い方の講習を鶴見消防局寺尾出張所の消防士の皆さんを講師にお迎えし、研修を行いました。13日には小児療育センターの心理士の方々をお迎えし、特別支援教育について研修いたしました。先生方も教えるだけではなく、学習し続けています。



お知らせ

小児療育相談センターとの連携

本校は27年度より小児療育相談センターと連携を行っています。日常生活・学校生活・地域での暮らしなどでお困りになっていることはありませんか？家庭でゲームばかりしている。食事以外部屋から出てこない。友達とトラブルを何度も起こしてしまう。家で全く勉強しない。家庭でも落ち着きがない。学校から何度も呼び出される。それらの課題のうちいくつかの要因は、教育の分野では解決できないことかもしれません。（直接申し込む場合には非常に相談件数が多く、混でいますので、上の宮中保護者とお伝え下さい。）

学校でのお申し込み窓口 養護教諭 内田 582-8801

小児療育相談センター

ホームページ <http://www.aotori-y.jp/>

小児療育相談センターは、主として思春期・青年期までの発達に関する診療相談と家族関係・学校生活・仕事・地域での暮らし等に視点をあてた支援をしています。

日常生活でお困りになっていることをお気軽にご相談ください。

受付時間月～金 8:45～17:15

連絡先 TEL. 045-321-1721 FAX. 045-321-3037

